

# 京都市子ども安全ネットワークニュース

Vol. 22 平成 21 年 9 月発行：京都市子ども安全会議事務局

教育委員会体育健康教育室 213-5472 [http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-4-0-0-0\\_2.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-4-0-0-0_2.html)

## < 連携を強化！ 更なる見守り活動の充実を！ >

### 平成 21 年度 小学校支部学校安全ボランティア講習会はじまる

今年度の学校安全ボランティア講習会は、地域の実情に応じた取組を一層推進するため、警察や区役所のご協力も得ながら、まず各小学校支部ごとに開催することとしました。（全市対象の講習会は来年 2 月頃開催予定）

7 月 28 日（火）の北上支部を皮切りに、京都市全域で 12 月までに順次開催される予定です。

すでに開催された支部講習会では、お互いの地域事情や地理が理解できることもあり、活発な意見交換はもちろんのこと、困りごとの相談も行われ、今後の連携を確認されていました。

皆さん、これからも、子どもたちを守り健やかに育むため、ご協力よろしくをお願いします。

#### < 支部学校安全ボランティア講習会の様子 >



#### 警察署からのワンポイントアドバイス

見守り活動中、犯罪者を発見されても、自分で捕まえようとするのは、非常に危険なので、やめてください。

犯罪者の特徴や車のナンバーなどを警察に知らせてください。

#### < 参加者の意見等の一例 >

- ・ 見守り活動を長く続けるには、子どもが好きという気持ちが大切。
- ・ 活動継続のためには、地域と P T A との役割分担やローテーション制が有効。
- ・ 日常生活の中での自主的な活動（見守りながらの散歩等）を重視している。
- ・ 活動開始から数年が経過し、当初の意識が薄らぐことを危惧する。一方で、子どもたちとの付き合いは深くなっている。
- ・ スクールガード・リーダーに学区の会合にも参加してもらい、専門家の立場からアドバイスがほしい。
- ・ 集団登校の先頭を歩く高学年の児童が挨拶をすれば、子どもたちは皆挨拶をする。我々も、積極的に声かけをした方がよい。
- ・ メンバーの固定化・高齢化が大きな課題。逆転の発想で、昼間仕事のある人の参加方法（夜間パトロールなど）や高齢者の参加促進を考えることも必要。
- ・ この会合を年 1 回ではなく、もっと開催してはどうか。

#### < スクールガード・リーダーから >

- ・ 「ここを重点的に巡回してほしい。」など、要望があれば遠慮なく言っていただきたい。

子どもを共に育む  
京都市民連帯



社会のあらゆる場で実践し、  
行動の輪を広げましょう！

#### 新型インフルエンザ ~ 「うつらない」、「うつさない」ために~

新型インフルエンザ対策は、一人ひとりの「うつらない」、「うつさない」取組が重要です。

9 月 15 日号市民しんぶん区版折込チラシで、秋冬の流行に向け、「うつらない」ための正しい手の洗い方、「うつさない」ための咳エチケットをはじめ、新型インフルエンザ対策が特集されています。

# 各校区の事例紹介 地域ぐるみの子ども安全活動の取組



## 北白川小学校区(左京区)

北白川小学校区は、背に大文字山、近くに銀閣寺、疏水分線が流れ、6月には疏水にホタルが乱舞する自然豊かな地域です。

安心・安全の取組としては、学校運営協議会(平成19年2月発足)の児童安全部会を立ち上げる以前から、北白川スクールパートナー(現在約60名登録)やPTAが、児童が安心して地域で暮らせるよう、創意工夫を凝らした地域見守り活動を自主的に行っていました。

北白川スクールパートナーは、黄色いタスキをかけ、毎日都合のつく時間帯に、地域パトロールを実施しています。

北白川PTAは、安心・安全の取組をPTA活動の大きな柱として、見守り当番活動の充実を掲げ、3か月に1度、見守りカレンダーを作成し、「PTAが子どもたちにしてやれる安全の取組を自分たちができるところから」をモットーに取り組んでいます。また、校区を4つのエリアに分け、1か月に最低1回以上、登下校・夕方を中心に見守り活動を継続しています。今年8月からはよりきめ細やかな取組の一環として、従来の4つのエリアを中心とした活動に加え、校区内の主要地点11か所に見守り拠点を設置しました。その拠点を取り入れたカレンダーも作成して見守り活動を充実させたところです。

さらに校区内で最も交通量の多い北白川別当町交差点では、毎朝、北白川スクールパートナーやスクールガード・リーダーの方々が交通整理を行い、児童が安心して登校できるようあたたかく見守って下さっています。「おはようございます」「行ってきます」。子どもたちの元気な声が交差点に響きわたっています。



## 桂東小学校区(西京区)

桂東小学校区は、東に桂川が流れ、西には阪急桂駅、北には桂離宮・御霊神社がある地域です。以前は田園風景の美しい地域でしたが、現在は大きな桂川街道(久世梅津線)が校区の中程を走り店舗や民家が増え、田園は僅かになってきました。桂川街道の交通量はもとより、旧山陰街道も道幅が狭い上に交通量が大変多く、子どもたちにとって、登下校の安全確保が大変重要です。また、桂駅はとても便利ですが、いろいろな人の出入りがあり防犯上の問題も出てきます。そのような状況の中、「安心安全のまちづくり」を目指し、地域の皆さんは様々な活動に取り組んでおられ、子どもたちの安全も守っていただいています。

見守り隊の方に、子どもたちと話をするのがとても楽しいとおっしゃっていただき、うれしく思いました。毎日子どもたちの安全を守っていただいていることに心から感謝しております。

<地域の安全活動の取組>

**見守り隊活動** 毎日登下校時に危険な場所に立ち安全確保。

**防犯ブザー赤色灯の設置** 「こども110番のいえ」や「門灯をつけて明るい街づくり運動」と合わせて、緊急事態に備え、地域の方に危険を知らせるブザーを通学路に設置。

**防犯パトロール隊** 子どもたちの安全防犯活動として自動車4台(青色パト)による地域パトロールを実施。

**安心・安全防犯推進のぼり旗** 地域住民の防犯意識の高揚と犯罪抑止のため各自治会へ設置。

**交通安全教室** 毎年、低学年の子どもたちを対象として開催。

